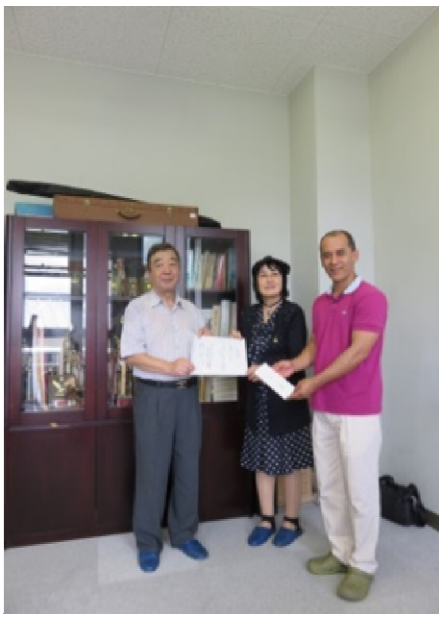
卒業生の活躍

学移連 OB 会教科書購入資金を寄贈

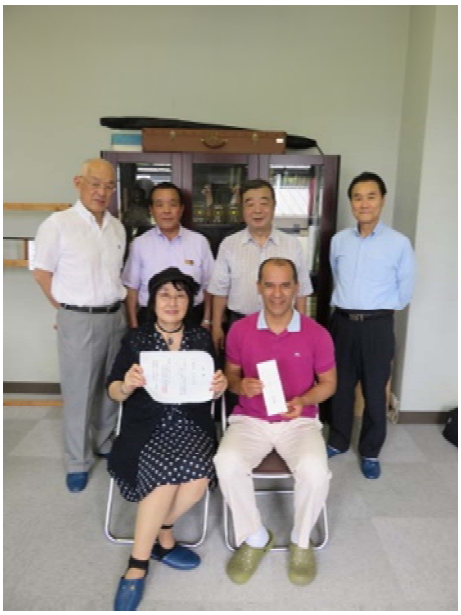
日本学生海外移住連盟（学移連）OB 会西日本支部支部（今北吉久支部長）は、7 月 18 日
東近江市甲津畑町ブラジル人学校「日本ラチーノ学院」に於いて同学院生徒の日本語教科書購入資金 26 万円を同学院に寄贈した。

同学院は、ブラジル教育省の教育方針に基づき本国から教科書を取り寄せポルトガル語で授業を行っている。従来から日本語教育に力を入れているが、カリキュラムの関係上日本語の授業は週 1 時間 40 分と少なく、又日本語の教材をコピーして授業を行っており、様々な理由で日本語教科書を教材とするまでには至らず、日本語授業の環境としては必ずしも十分ではなかった。

学移連 OB 会西日本支部では、同学院での教科書のない日本語授業を憂い、引地正之（昭和 41 年度英米語学科卒・海外事情研究会）前支部長が中心となって学移連 OB を始め日本語教科書贈呈に賛同する企業や知人に働きかけ協力を仰いだところ、多くの賛同者の協力を得て教科書購入資金が集まり、「今まで教科書がなく不自由していた日本語授業だが、教科書を使用して生徒の日本語の勉強意欲を高めて欲しい」との希望を込めて同学院生徒への日本語教科書購入資金を寄贈したものである。



左から　引地、中川理事長、カイオ校長



左から前列：中川理事長、カイオ校長
後列：今北支部長、北原事務局長、
引地前支部長、谷村幹事